

高齢者

介護保険料は据え置き

今後3年間の「第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」が策定されました。当初、値上げが示されていた介護保険料は、市民の声を受け9年ぶりに据え置きとされました。

しかし、今年8月には現役並み所得の方の介護サービス利用料に3割負担が導入されます。また、要支援1・2の方を無資格者によるサービスに誘導する総合事業は拡大の方向です。

施設整備は、小規模特養を2施設、認知症グループホームを2施設増設する計画です。特養の待機者は今でも3000人を超えており、党市議団はさらなる充実を求めています。

特養ホーム待機者 3000人超

市の施設整備計画 小規模特養2施設

後期高齢者保険料

低所得者には負担増

2年ごとに見直される後期高齢者医療制度では、一人あたりの平均保険料が、2.2%程度初めて値下げされることになりました。しかし、国による昨年から段階的な軽減特例の見直しで、保険料の2割軽減が廃止され、7割軽減が5割に後退するため、約13000人の方が100円～8000円程度の値上げとなってしまう。



軽減特例の見直しで... 13,000人に100~8,000円 負担増

共生型サービス事業

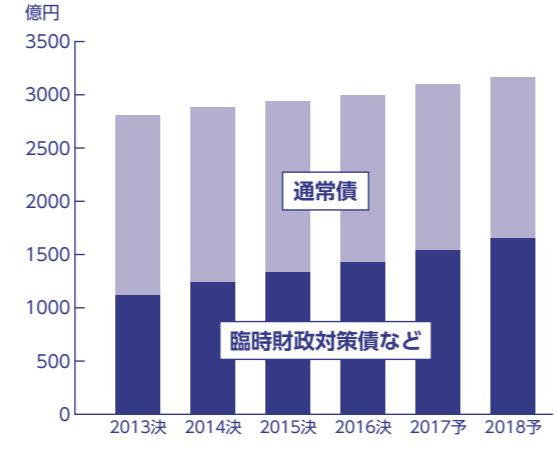
専門性が問われる

高齢者と障害福祉サービスを同一の事業所が提供できるよう規制緩和した、「共生型サービス」が導入されます。例えば、高齢者施設が障害児支援を始める場合、本来必要な資格者がいなくてもよいという内容で、専門性に基づく確かな支援が出来る保障がありません。

国は、あたかも障害者の65歳問題の解消のように位置づけますが、障害者が65歳になると、質も量も負担も違う介護保険に原則移行する問題の根本的な解決にはなりません。

過去最大の新年度予算 借金は増

2018年度一般会計は、過去最大の3,172億円で前年比0.9%増です。借金の残高は、市の単独の借金である通常債は2.8%減の1,512億円ですが、国の借金立替えにあたる臨時財政対策債などとの合計は2.2%増の3,165億円で、6年連続増加です。



トピック Topic

議長人事 いい加減にして！ 自民内紛

自民党岡山市議団の内の17人が提案した、宮武博議長への議長不信任決議が可決されました。日本共産党岡山市議団は賛成しました。

昨年の8月議会で議長信任決議をあげた自民党議員の多くが今回不信任を出したのです。おおもとは市民不在の自民党内の争いがあります。

自民党には内紛で議事を振り回さないこと、議長には決議を受け止め、辞職することを党市議団は求めます。

核兵器廃絶は願うが動かない？！

岡山市は平和都市宣言で「憲法の恒久平和の理念に基づき(中略)核兵器が完全に廃絶されることを願う」とうたっています。また、核兵器禁止条約を推進している「平和首長会議」に加盟しています。

しかし党市議団が市としてヒバクシャ国際署名を集めることや、平和首長会議の会議への参加を求めたところ、いずれも行わないという後ろ向き答弁に終始しました。

ごみ収集は無料に

市は、玉野市・久米南町とごみ処理の広域化計画を進めており、6～7月頃に候補地を絞り込む予定です。大規模施設の是非やごみ減量の計画など検討が必要です。

家庭ごみ有料化の収入は約9億3,000万円で、経費を引いたもうけは5億6,000万円です。市は環境施策に充てると言いますが、口実にすぎません。

安全で衛生的な市民生活を守ることは、自治体の責任です。収集は無料に戻すべきです。

編集後記 Editorial note

自民党大会で安倍総理は憲法を変える執念を示しました。自衛隊を憲法に書き込めば、憲法九条を死文化させ、日本を海外で戦争する国に変えてしまいま

す。公文書改ざん問題は独裁につながる情報コントロールで、国民主権を踏みにじるものです。憲法を守らない人たちに憲法を変えさせるわけにはいきま

せん。草の根で憲法を守り活かすための署名を、3,000万筆目標にとりこんでいます。改憲を許さない声をいっしょに広げましょう。